

文責：鈴木裕史

(敬称略)

(1) 概要

日 時	2019年9月14日(土) 19:00～21:00
場 所	睦自治会集会所
出席者 (18名)	睦自治会：*岩崎光雄(会長)、*柳澤知子(副会長)、*佐々木恵美(副会長)、梅田建一 防災リーダー：松瀬義衛(代表幹事)、有馬進一、鈴木悠右、林英夫、中野浩、森隆章、鈴木裕史 瀬戸新一郎(防災トークアドバイザー) やよい自治会：山沢、臼井 さつき自治会：山本、米窪、中山、山之口

*岩崎光雄/*柳澤知子/佐々木恵美：防災リーダー兼任

(2) 議事

議 題	
1. 令和元年度 睦自治会・やよい自治会共同開催 個別体験訓練計画	
2. 防災トーク プロジェクト報告	
3. その他	
決定/検討事項	
1. 「さつき自治会」は防災訓練経験が浅いことから、今回の個別体験訓練には訓練参加者として参加する。次年度に訓練の運営に参加するかは確認事項。	
2. 防災トークを活用した大規模台風（風害）発生から避難施設へ避難までのフロー作成	
3. 防災リーダー会準構成員（サポーター）設置の検討	
議 事 内 容	
1. 令和元年度 睦自治会・やよい自治会共同開催 個別体験訓練計画	(睦自治会防犯防災部)
1) 協議に先立って各自自治会参加者の自己紹介と防災に関する紹介	(参照①)
《やよい自治会》	
・戸数：121	
・自主防災隊：メインは茅ヶ崎防災リーダーを中心	
構成員：16名 サポーター：20名	
・やよい自治会と自主防災隊の会長は兼務（継続性維持）	
《さつき自治会》	
・戸数小規模	
・役員が1年交代のため、引継ぎを強化していきたい	
・若い人を取り込みたい	
・防災活動を活発にしたい	
《睦自治会》	
・防災リーダー会活動の紹介（世帯台帳整備・防災トーク）	
・組織機能訓練/個別体験訓練の実施内容	
2) 個別体験訓練 実施内容	
日時：令和元年10月5日(土) 10:00～13:00	
場所：遠藤丸山公園（災害時の一時避難場所）	(雨天時：睦自治会集会所)
※やよい自治会、睦自治会の各担当は別途協議する	
次回予定	2019年10月12日(土) 19:00～ (於) 睦自治会集会所

議 事 内 容

3) 留意点

- ・ 起震車が駐車する道路に看板と要員を置く
- ・ 前回119番通報訓練機器が不調だったので、消防署に正常動作の確認をする
- ・ 雨天時は緊急移動訓練/応急救護訓練/消火器取扱い訓練/119番通報訓練を実施する（9時に判断）

2. 防災トーク プロジェクト報告

(防災トークプロジェクト)

1) 経緯

メンバー：松瀬・瀬戸・鈴木(裕)

- ・ 7/20,8/10 防災トーク主要機能の研修
対象：睦自治会会長/副会長/防犯防災部/防災リーダー
- ・ 7/25,8/2,8/9,8/16,8/22,8/29,9/5
 - ・ 防災トーク機能の検証
 - ・ 不具合一覧表の作成
 - ・ NCCCへ不具合、改善要望情報の提供
不具合：33件 改善要望：6件
- ↓
- ・ NCCCから不具合の修正は今年末までに実施との連絡
- ・ 次の2項目の不具合修正の優先順位アップを依頼し受理される
 - ・ 一斉招集をスマホのプッシュ通知機能で通知しているが、分かりづらい
 - ・ 「情報交換」「お知らせ」「助けて！」のスレッド、返信が削除できない
- ↓
- ・ 上記以外の不具合解消は今年末の予定のため、試用期間も今年末まで延長
課金開始は2020年1月以降

2) 課題

- ・ 「一斉招集」のプッシュ通知が分かりづらい

LINEグループ「防災睦」を作成

目的：「防災トーク」「一斉招集」確認の通知

災害時のコミュニケーションツール

「防災トーク」：メイン LINE：サブ

3) 防災トーク 新バージョン開発状況

- ・ 新機能
 - ・ 全住民の安否確認
 - ・ 要支援者の安否確認代理入力
- ・ 進捗状況
 - ・ iPhone：11月上旬完成予定
 - ・ Android：年内完成予定

議 事 内 容

4) 今後の計画

- ①防災トークを活用した大地震発生から防災本部設置までのフロー作成
(参照②)

- ②防災トークを活用した大規模台風（風害）発生から防災本部設置、
避難施設への避難までのフロー作成
考え方： 「警戒レベル4 避難勧告」が発令後防災本部設置の行動を開始する
(参照③)

- ③防災情報の活用推進
 - ・Yahoo!防災速報
避難情報・地震情報・豪雨情報等を発信するサービス。
藤沢市と協定を締結しており、災害発生時や台風接近時などに、
藤沢市の警戒レベルや避難施設の開設状況や注意喚起の情報を配信。
スマホアプリ：Android/iPhone
メール版
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bousai/20181101.html>

 - ・湘南レディオ
藤沢市と防災協定を締結しており、災害時に迅速で正確な情報を配信
スマホアプリ：Android
JCBAインターネットサイマルラジオサイト：Android/iPhone
<https://www.jcbasimul.com/radio/726/>

3. その他

1) 防災リーダー会準構成員（サポーター）設置の検討

防災リーダー数の減少、高齢化に対応するため、防災リーダー講習の未終了者でも強い防災意識を持つ者を防災リーダー準構成員として防災リーダー会の強化を図る

睦 防災リーダーの会

議 事 内 容

(参照①)

令和 1年度 睦自治会・やよい自治会 共同開催防災訓練計画書

1.目的

(1) 自治会会員の全員が主体となる[個別体験訓練]

※ さつき自治会は訓練参加

一人ひとりが、諸器具の取扱い等になれ、災害発生時に適切な行動がとれるようにする。

2.日時 令和 1年10月5日(土) 午前10時 ~12時

3.場所 遠藤丸山公園 (睦自治会の災害時の一時避難場所) →雨天時：睦自治会集会所

4.訓練項目

事前準備	予定時間	準備作業	資機材	睦自治会担当
●役員集合	8:30	打ち合わせ、準備作業開始	軍手・防災用ヘルメット	自治会役員(全員)
●参加呼びかけ	9:00~9:30	防犯パトロールの順路を周回して参加を呼びかける	ハンドマイク	消火班
●受付場所、訓練場所、機材等の準備	9:00~9:30	テント設営、看板設置、受付設置、発電機等の準備	テント(2張)、テーブル(2)、イス(5)、看板、バケツ(9)、簡易トイレ、ハンドマイク等	自治会役員(全員) 防災リーダー(全員)
●参加者受付	9:30~9:50	受付はテント1で行う 全員にお茶を渡す	受付名簿、筆記用具、お茶	情報班
●打ち合わせ	9:30~ 消防隊、 危機管理 課到着後	広場中央で、個別体験訓練の進め方を確認する	防災訓練計画書、配置図、進行予定表、「道路使用許可書」	消防隊員、危機管理課職員、防災リーダー代表、自治会役員：会長、副会長、防災担当
	11:30~	茅ヶ崎消防隊と放水位置の確認	消火栓前	
個別体験訓練	予定時間	訓練の概要	資機材	担 当
【開会】 挨拶、 消防隊員・危機 管理課職員紹介	10:00~ 10:10	参加者は、5班に分かれて 整列する	ハンドマイク、 1~5班のゼッケン	会長、市民センター、消防隊員(5名)・危機管理課職員(2名)
①緊急移動訓練	体験1(20分) 体験1~5 をロー テーショ ンで体験 する	簡易担架の組み立てと使用 法を体験する	パイプ(4)、毛布 (2)、ブルーシート	消防隊員 防災リーダー
②応急救護訓練	体験2(20分)	AEDの操作法を体験する	AED2セット(消防)、 ブルーシート	消防隊員 防災リーダー
③煙体験訓練	体験2(20分)	煙の中を避難する疑似体験 をする	煙ハウス(消防)、 送風機用発電機、煙発 生薬	消防隊員 防災リーダー
④バケツリレー による消火訓練	体験3(20分)	バケツリレーによる消火活 動を体験する	ポリ水槽、バケツ、 消火的、ホース、留め	消防隊員 防災リーダー
⑤消火器取扱い 訓練	体験3(20分)	水消火器を使用して消火活 動を体験する	水消火器8本(消防)	消防隊員 防災リーダー
⑥119番通報訓練	体験4(20分)	119番通報装置を使用し、 通報要領を体験する	119番通報装置、電源 ケーブル(消防)	消防隊員 防災リーダー
⑦起震車体験訓練	体験5(20分)	地震の揺れを実際に体験す る	起震車(危機管理課)	危機管理課 防災リーダー
【閉会】 会長挨拶、謝辞	11:50~ 12:00	防災訓練の振り返り	ハンドマイク	会長、協議会会長、消防隊 隊長
●後片付け	12:00~ 12:30	テント、機材等の後片付け	収納場所、個数の確認	自治会役員(全員) 防災リーダー(全員)
★振り返り	6/4 18:30	自治会定例会	振り返り用紙	自治会役員

5.購入品

お茶(ペットボトル)	☆参加者全員に配布	96本	防災担当
防災ホイッスル	☆自治会員に配布	60個	会計担当

6.雨天時 個別体験訓練①、②、⑤、⑥を睦自治会集会所にて実施

⑧ 放水訓練

睦 防災リーダーの会

議 事 内 容

(参照②)

地震発生～防災本部設置手順（防災トーク活用）

2019年9月14日

震度 5 以上の大地震等の発生

睦自治会 集会所	睦自治会 防災組織	月 当 番	会長権限	防災委員	防災トーク 協力委員	防災トークアプリ
本部長	役員/防災リーダー					

集会所へ集結
・睦自治会役員、防災リーダーは集会所に集結
・防災トーク利用者は一斉招集出席可否の回答

緊急情報の収集
・揺を回り火災・家屋倒壊・白タイルの出てない家を把握

一斉招集
・LINEで一斉招集の案内
・一斉招集出席可否の確認

一斉招集 出席
・出席の可否（参加する・遅れる・不参加）を回答する

集会所へ集結

【睦防災本部】
設置宣言
《本部長》

電話連絡
・防災トーク未応答者
・睦自治会役員
・月当番

・防災組織役員
編成表
・月当番・連絡表
出席可否記入

防災トーク活用
「情報交換」 「お知らせ」 「助けて！」 を活用する



以降 《防災本部立ち上げフローチャート》参照

(参照③-1)

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります

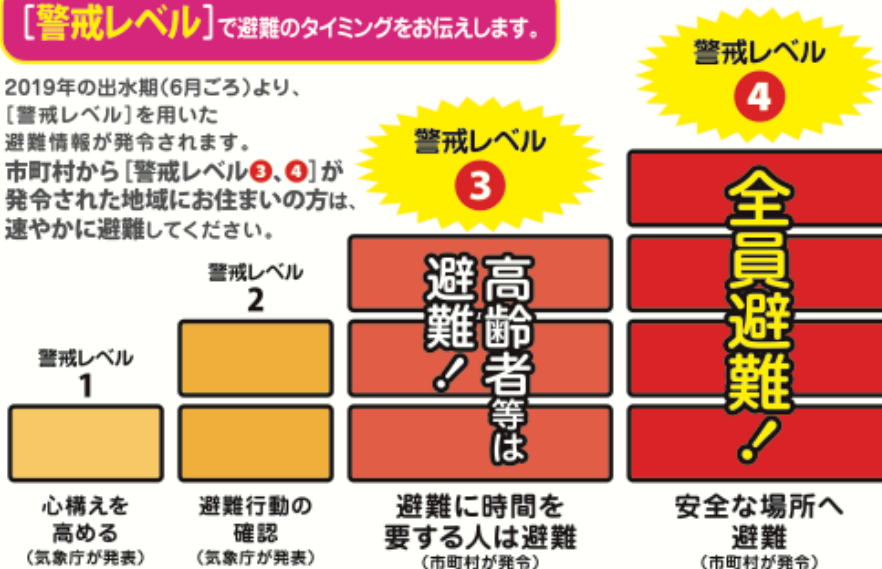
逃げ遅れゼロへ!

防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの?

警戒レベル4で全員避難!!

[警戒レベル]で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、
[警戒レベル]を用いた
避難情報が発令されます。
市町村から[警戒レベル③、④]が
発令された地域にお住まいの方は、
速やかに避難してください。



[警戒レベル⑤] (市町村が発令) は既に災害が発生している状況です。

次のような内容で自治体から避難行動を呼びかけます!

呼びかけの一例
警戒レベル4
避難行動の伝達文例

- 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。
緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。
- こちらは、〇〇市です。
- 〇〇地区に洪水に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました。
- 〇〇川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。
- 〇〇地区の方は、速やかに全員避難を開始してください。
- 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。

- 警戒レベルととるべき行動を端的に伝えます
- 避難勧告の発令を伝えます
- 災害が切迫していることを伝えます
- とるべき行動を伝えます

議 事 内 容

(参照③-2)

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、 国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階※1に整理しました。

<避難情報等>

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 ^{※2} <small>※2 災害が発生していることを 把握した場合に、可能な範囲で発令 (市町村が発令)</small>
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思わ れる場合は、近くの安全な場所や、自宅内 のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) ^{※3} <small>※3 地域の状況に応じて緊急時又は 重ねて避難を促す場合に発令 (市町村が発令)</small>
警戒レベル3 高齢者^{※4}は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害の ある方、乳幼児等)とその支援者は避難を しましょう。その他の人は、避難の準備を 整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (市町村が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)

<防災気象情報>

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報
氾濫発生情報
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報
氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 等

警戒レベル3相当情報
氾濫警戒情報
洪水警報 等

これらは、住民が自主的
に避難行動をとるために
参考とする情報です。

(国土交通省、気象庁、都道府県が発令)

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるわけではありません。状況が急変することもあります。

Q&A

質問1) 防災気象情報は出てるけど、避難情報が出ていないときはどうすればいいの？

⇒市町村は、様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行うことから、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。

自らの命は自ら守る意識を持って、防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。

質問2) 避難指示(緊急)は、避難勧告と同じ警戒レベル4に位置付けられたけど、考え方が変わったの？

⇒避難指示(緊急)は、地域の状況に応じて緊急的に又は重ねて避難を促す場合などに発令されるもので、必ず発令されるものではありません。避難勧告が発令され次第、避難指示(緊急)を待たずに速やかに避難をしてください。

質問3) 洪水で「警戒レベル4相当情報」が既に出ているなかで、土砂災害で「警戒レベル3相当情報」が出たけど洪水のレベルも4から3に下がったということなの？

⇒洪水の危険性が4から3に下がったわけではありません。洪水は4のままで、土砂災害の3が追加されたのであり、その地域は洪水と土砂災害、両方の災害を警戒する必要があります。

【警戒レベル5】では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

**【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、
地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。**

■詳しく知りたい方は

内閣府 防災情報のページ

内閣府 避難勧告

検索

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/index.html



スマホ用
二次元コード